

漢字を書く(今までにないドクソウ的な考えだ) 正答率 28.7%

過去の出題で正答率 60%未満であった漢字

年度	出題	正答率(%)
26	招待	57.9
24	招待	49.6
21	補う	54.8

	解答類型	割合 (%)
○	「独創」と解答しているもの	28.7
×	「独創」のうち「独」だけ正しく解答しているもの	57.5
×	「独創」のうち「創」だけ正しく解答しているもの	0.2
×	上記以外の解答	5.4
—	無解答	8.1

2 今までにないドクソウ的な考えだ。

1 次の1から3までの文中の「線部」のカタカナを漢字に直し、楷書でていねいに書きなさい。

「独創」のうち「独」だけ正しく回答しているものが 57.5%であり、半数以上の生徒が「創」と書けなかったことが分かる。「創」については、「想」、「奏」、「走」などという誤答が多かったことが全国学力・学習状況調査の報告書で述べられている。

「独創」という言葉は日常的に目にする言葉ではないことから言葉自体を知らなかった、若しくは文脈を意識せず、「独走」や「独奏」といった同音の漢字と書き間違えたことが原因であると考えられる。

内容の系統

中学校第1学年
伝国ウ(イ)

学年別漢字配当表の漢字のうち 900 字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うこと。

中学校第2学年
伝国ウ(イ)

学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うこと。

中学校第3学年
伝国ウ(イ)

学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れること。

※「学年別漢字配当表」…小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表

提案

漢字の習得に向けた指導を工夫しましょう。

- 漢字を書く指導においては、文脈に即して漢字を書くように常に注意しながら学習させることが大切です。例えば、同音で意味の異なる漢字などを取り上げ、文脈に即して書くといった学習をさせましょう。また、各教科等の学習においても漢字を適切に使用して指導することを教員間で共通認識しておきましょう。
- 家庭学習で漢字を書かせる場合も、繰り返し熟語を漢字帳に書かせるだけのような学習のさせ方では十分とは言えません。例えば指定した漢字を全て使って文章を作るといった、思考力を働かせながら文脈の中で漢字を使わせるような工夫のある課題の出し方が必要です。
- なお、漢字が書けない原因として言葉を十分獲得できていないことも考えられます。読書を通じて多くの言葉に触れさせていくことも大切にしましょう。